

肥前名護屋城と文禄・慶長の役②（1/2）

～「文禄の役」・「慶長の役」～

■文禄の役

1587年（天正13）、九州を平定した秀吉は、博多に「御座所」普請を命じ、準備が本格化する。

1590年（天正18）、関東・奥州を平定し、文字通り日本統一を成し遂げた秀吉は、翌1591年（天正19）、九州の黒田長政・小西行長・加藤清正らに命じ、名護屋城の本格的な普請を命じた。

1592年（天正20）4月、小西行長・宗義智らを先頭に、釜山上陸を開始、ここに「文禄の役」が始まった。渡海軍の陣立は約16万人。なお、文禄の役の目的は、明（中国）を攻めることであり、朝鮮半島はあくまで、その途上にあるという考えに過ぎなかったようである。

侵攻後の秀吉軍の勢いはすさまじく、瞬く間に釜山を攻略、朝鮮半島を北上し、主要な8街道を押さえ、最先端は、現在の北朝鮮の首都「平城」にまで達した。

しかし、義兵と呼ばれる半島の人々の抵抗や、明の救援などにより、次第に戦況は悪化、加えて、亀甲船と呼ばれる軍船を操る李瞬臣の水軍の前に、制海権まで奪われた日本軍は、半島南部に釘付けされるようになり、兵たちの疲労もピークを迎えることとなる。

こうした状況を打破しようと、明との講和を図る一方、一部の兵を除いて一時日本軍は帰国するが、やがてその明との交渉も決裂（明の皇帝が、秀吉を臣下扱いしたことに、秀吉が激怒したと言われる）、秀吉は再び、朝鮮半島へ向けて侵攻を開始する。慶長の役の始まりである。

～2/2へつづく～

分野 歴史

地域 鎮西

◎地図・写真・統計資料など

◎引用・参考文献（出典）

◆佐賀県名護屋城博物館提供

※「自然」の部「観音の滝」を参照


※「歴史」の部「広沢局」を参照

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.html

肥前名護屋城と文禄・慶長の役②（2/2） ～「文禄の役」・「慶長の役」～	分野	歴史
	地域	鎮西
<p>～1/2からつづく～</p> <p>■慶長の役</p> <p>1597年2月、およそ14万の兵により、再び半島への侵攻を開始した秀吉の目的は、前の文禄の役とは異なり、朝鮮半島南部一帯を手中に治めることであった。</p> <p>しかし、兵たちの間には嫌戦感が漂い、再起した朝鮮半島・明軍の勢いはすさまじく、合わせて大陸の厳しい冬の気候にも翻弄された日本軍は、次第に孤立していく。</p> <p>やがて、蔚山城の戦いなど、要所要所での戦いに敗れた日本軍は、秀吉に対し、撤退を進言するが秀吉は却下、いつまで続くかと思われたこの戦争も、1598年8月、秀吉の死をもって終結を迎え、同年11月、日本軍はすべて朝鮮半島から撤退した。</p> <p>1592年の侵攻から7年、文禄・慶長の役は、朝鮮半島の人々はもちろん、日本にも多大な被害をもたらし、その幕を閉じることとなる。</p> <p>なお、その後、徳川幕府の成立とともに、朝鮮半島との関係は急速に修復、江戸時代を通じて、計12回の朝鮮通信使を迎えるなど、友好的な関係へと姿を変えていくこととなる。</p> <p>こうした背景には、日本における徳川政権の国際戦略と、国内に火種を抱える朝鮮半島内部の思惑という、双方の力が同じベクトルに働いたからではないかと言われている。</p>	<p>◎地図・写真・統計資料など</p>	
<p>◎エピソード・伝承・うんちく など</p> <p>■曾呂利新左衛門の小庭 曾呂利新左衛門は豊臣秀吉の御伽（おとぎ）衆の1人として知られ、また作庭の名設計者としても名をはせている。秀吉の朝鮮出兵を従って肥前国に来て、この小庭のほか近松寺境内に「舞鶴園」を築庭したと伝えられている。 この小庭のある法光寺には、その他旗指し石や、高さ7m・樹齢400年といわれる「太閤秀吉お手植えの桜（シオガマザクラ）」があり、毎年4月の「太閤桜まつり」には、多くの見物客が訪れる。</p> <p>【場所】唐津市鎮西町名護屋（法光寺境内） 【問い合わせ】唐津観光協会鎮西支所 0955（51）1052</p> 	<p>◎引用・参考文献（出典）</p> <p>◆佐賀県名護屋城博物館提供</p> <p>※「自然」の部「観音の滝」を参照 ※「歴史」の部「広沢局」を参照</p> <p>◎もっと詳しく知りたい方は</p> <p>唐津市近代図書館へお問い合わせください。</p> <p>■電話：0955-72-3467</p> <p>■ホームページ： http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html</p>	